

日本 リート診断士会が発足

信用、地位向上に期待



林会長

維持補修などに関わるコンクリート診断士会が全国各地に設立されているが、各地区の診断士会を束ねる日本コンクリート診断士会が設立された。7月23



設立にあたり14地区の診断士会が参加した

日、都内の日本コンクリート工学協会事務所で設立総会を開催し、会長に林静雄氏（東京工業大学教授）、副会長に小野定氏（東京コンクリート診断士会会長）と佐藤嘉昭氏（大分県コンクリート診断士会理事長、大分大学教授）が就いた。林会長はあいさつで、構想からわずか3年で診断士会を立ち上げ、「（会員の）協力を得ながら進めていかないとけない」と述べた。

設立総会では定款、細則、理事・監事・学術会員を選出した。理事には林会長を含め12

名を選出した。事業計画では企画、広報、技術の3部会の活動などを定め、官公庁へのPR活動などを行う。設立にあたり、日本コンクリート診断士会準備会の小野定主査は趣意書で、「各地区に設立されているコンクリート診断士会の活動を強力に支援しつつ、効率的

な連携により、コンクリート診断士の技術力向上を図り、構造物管理へのPRなどを通じて診断士制度の目的達成のために組織的な活動を通して社会へ貢献するとともに、診断士の社会的信用・地位を向上することが必要」としていた。

同会に加盟する診断士会は北海道から大分まで全国に14地区。東海、長野、高知の3地区は後日の総会で参加を決定する見込みだ。

会員数は個人会員が636名、学術会員は林会長と佐藤副会長、魚本健人氏（芝浦工業大学教授）の3名とし、今後、順次会員の増強を図る。法人会員は45

社で、主に調査・点検・診断を行う会社がメインだが、生コン会社や混和剤メーカーも参加している。

事務局は当面、東京コンクリート診断士会の事務所に併設する。住所は東京都分寺市本町2・23・3富沢ビル2階。042・320・5585。